第24回　ALOS-2/4観測運用調整会議
資料２－１

衛星の運用状況等

報告対象期間：2026年1月19日～2026年7月19日

2026年10月15日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門
衛星利用運用センター

２－１．衛星の運用状況等

2.1.1. 衛星の運用サマリ

- 衛星ハードウェア設計制約の中で観測運用を継続するため、「観測Duty＝**30%**（1周回の最大）」にて運用を実施している（**第138回帰以降（2019/10/21～）**）。

- 第301回帰～第313回帰（2026/1/19～2026/7/19）において、センサ及び衛星バスは概ね正常に動作している。

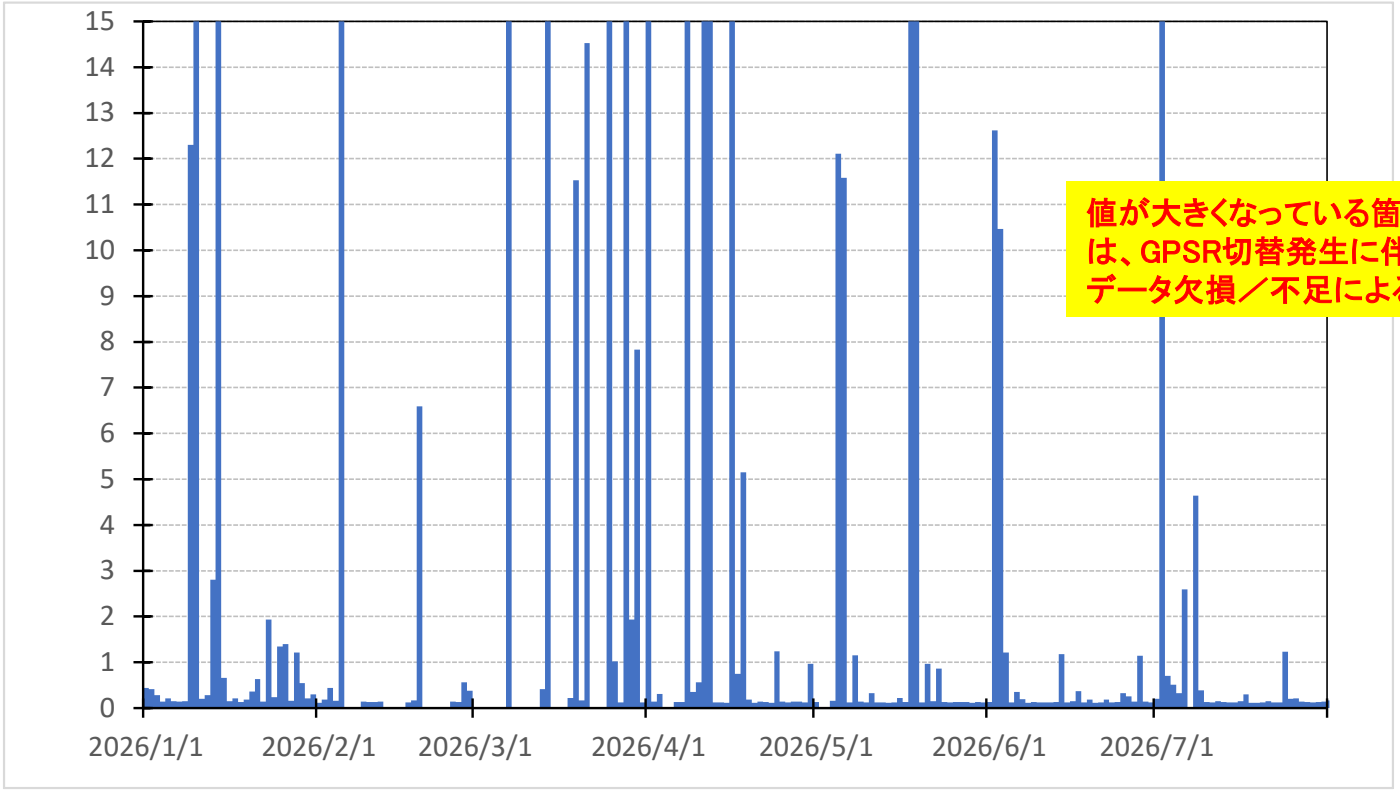
- 軌道決定精度は高い水準で推移しているものの、衛星不明事象発生時に軌道上±500mチューブの逸脱が発生しているが、軌道保持状況は概ね良好に推移している。

２－１．衛星の運用状況等

2.1.2. 軌道決定精度

第301回帰～第313回帰（2026/1/19～2026/7/19）

・全ての回帰において概ね高い精度が得られている（GPSR切替発生時を除く）。



※精度評価方法：
・2つの軌道決定期間について重複箇所の距離の差でRMS評価を実施

２－１．衛星の運用状況等

2.1.3. 軌道保持状況

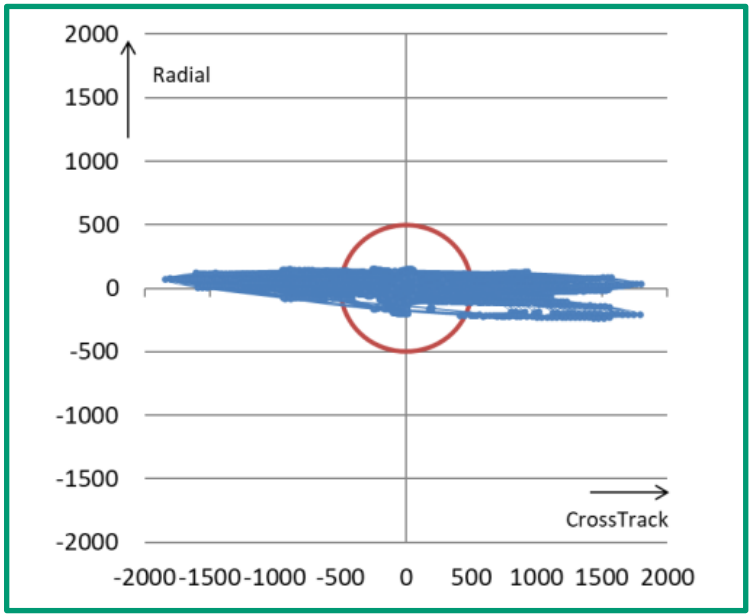
第301回帰～第313回帰（2026/1/19～2026/7/19）

・概ね±500mチューブ内で軌道が保持されていることを確認。
（大きな逸脱はGPSR切替発生のため制御が実施できなかったことによる）

・2026/5/27、第24回面外自律軌道制御を実施。

表　軌道上±500mチューブ内の保持確率

評価期間	保持確率[%]
第301回帰～第313回帰 （2026/1/19～2026/7/19）	99.76
【参考】 定常段階以降～現在 （2014/8 ～ 2026/7）	99.38



軌道保持状況
（ 2026/1/19～2026/7/19 ）

２－１．衛星の運用状況等

2.1.4. 今後の主な運用イベント

観測運用に関係する今後の衛星イベントは以下のとおり。

- ✓ 日蝕運用（年2回）：2027年2月6日

  観測停止期間
  - ・日蝕発生周回に前後1周回を加えた3～5周回程度

- ✓ センサ定期校正運用（年4回）：次回2026年11月17日～19日、次々回2027年2月9日～11日

  観測停止期間
  - ・1回の校正運用につき、3日間実施
  - ・各日の観測停止期間は、22:00頃(UTC)～翌日第一昇交点（0:30頃）まで（3日目のみ第二昇交点（2:30頃）まで）

- ✓ 面外自律軌道制御（年2回）：次回2027年1月予定

  観測停止期間（第24回（2026年5月期）実績）
  - ・2026年5月27日　04:33:24～09:25:35(UTC)のうち約105分間

２－１．衛星の運用状況等

✓ 衛星メンテナンス運用

期間：2026年10月18日 09:00（UTC） ～ 2026年11月16日 08:00（UTC）

今後の安定運用を目的に、上記期間に姿勢系メンテナンス運用を実施する。本期間中も中期観測計画に基づいた観測は継続するが、メンテナンス用観測を優先とするため、週間立案時に不採用となる観測が発生する。

また、本期間中の観測データについては、AUIG4において注文・提供可能であるが、姿勢系メンテナンスを実施するため、観測データの性能保証ができない。よって、観測データを利用する際はご注意頂きたい。

なお、本情報は、後日AUIG4にて周知する。

２－１．衛星の運用状況等

2.1.5. 処理ソフトウェアの主な更新履歴

- 報告期間における更新は無し。

2.1.6. 処理ソフトウェアの不明事象処置状況

◆ 現在対応中の不明事象

□ 観測データのノイズ（強い偽像の発生）【再掲】
詳細調査／根本原因の特定が行えなかったため再現待ちである。

□ ALOS-4 EICSでのALOS-2 SAR_L1データ処理／提供不可【再掲】
開発メーカにて調査／処置中であるが、データ再処理によりリカバリ可能。

□ ALOS-4 EICSでのALOS-2 SAR_L2.1データ処理（軌道データと観測データ中心の時刻情報に日跨ぎが発生した場合、値が0になる不具合）
開発メーカにて処置対応準備中。改修は2027年１月以降を予定。